

## 期 間 入 札 の 公 告

令和 7年 5月27日

青森地方裁判所弘前支部

裁判所書記官 清 水 陽 彦

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

## 記

入札期間	令和 7年 7月 1日 午前 8時30分から 令和 7年 7月 8日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 7年 7月15日 午前1.0時00分 場 所 青森地方裁判所弘前支部 開札場
売却決定 期日	日 時 令和 7年 8月 5日 午後 3時00分 場 所 青森地方裁判所弘前支部
特別売却 実施期間	令和 7年 7月16日 午前 9時00分から 令和 7年 7月17日 午後 5時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書(ただし、入札期間終了前までに、裁判所口座に現実に入金されたものに限る。) (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限(民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年 5月27日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

- 1 所 在 弘前市大字檜木字用田  
地 番 193番1  
地 目 宅地  
地 積 1286.18平方メートル
- 2 所 在 弘前市大字檜木字用田193番地1  
家屋 番号 193番1  
種 類 居宅  
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建  
床 面 積 149.05平方メートル  
(現況)  
床 面 積 1階約150.08平方メートル



## 物 件 明 細 書

令和 7年 4月18日

青森地方裁判所弘前支部

裁判所書記官 清 水 陽 彦

- 
- 1 不動産の表示  
【物件番号 1, 2】  
別紙物件目録記載のとおり

---

  - 2 売却により成立する法定地上権の概要  
なし

---

  - 3 買受人が負担することとなる他人の権利  
【物件番号 1, 2】  
なし

---

  - 4 物件の占有状況等に関する特記事項  
【物件番号 2】  
本件所有者Aが占有している。

---

  - 5 その他買受けの参考となる事項  
なし

### 《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

## 物 件 目 録

1. 所 在 弘前市大字檜木字用田  
地 番 193番1  
地 目 宅地  
地 積 1286.18平方メートル

共有者 B 持分48分の3  
共有者 C 持分48分の3  
共有者 D 持分48分の3  
共有者 E 持分48分の3  
共有者 F 持分48分の4  
共有者 G 持分48分の4  
共有者 H 持分48分の4  
共有者 I 持分48分の6  
共有者 J 持分48分の6  
共有者 K 持分48分の6  
共有者 L 持分48分の6

2 所 在 弘前市大字檜木字用田193番地1

家屋 番号 193番1

種 類 居宅

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 149.05平方メートル

所有者 A

(現況)

床 面 積 約150.08平方メートル



令和 7年(ケ)第 1号  
令和 7年 3月12日受理  
令和 7年 3月27日提出

# 現況調査報告書

青森地方裁判所弘前支部

執行官 小池 良 宏

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

## 物 件 目 録

1 所 在 弘前市大字檜木字用田  
地 番 193番1  
地 目 宅地  
地 積 1286.18平方メートル

共有者 B 持分48分の3  
共有者 C 持分48分の3  
共有者 D 持分48分の3  
共有者 E 持分48分の3  
共有者 F 持分48分の4  
共有者 G 持分48分の4  
共有者 H 持分48分の4  
共有者 I 持分48分の6  
共有者 J 持分48分の6  
共有者 K 持分48分の6  
共有者 L 持分48分の6

2 所 在 弘前市大字檜木字用田193番地1

家屋 番号 193番1

種 類 居宅

構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建

床 面 積 149.05平方メートル

所有者 A



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	(住居表示未実施)		
<b>土 地</b>	物件1		
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地(物件1) <input type="checkbox"/> 公衆用道路(物件 ) <input type="checkbox"/> (物件 )		
形状	<input checked="" type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり <input type="checkbox"/>		
占有者及び占有状況	<input type="checkbox"/> 土地所有者 <input checked="" type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している <input checked="" type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項	ほぼ平坦地。接する道ともほぼ等高であるが、生け垣により車両では出入りできない。該道へ至るため、日常は目的外隣地(196番)を通行している。		
<b>建 物</b>	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	<input type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点が異なる( <input checked="" type="checkbox"/> 主たる建物 <input type="checkbox"/> 附属建物) <input type="checkbox"/> 種類: <input type="checkbox"/> 構造: <input checked="" type="checkbox"/> 床面積: 1階 約150.08平方メートル		
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない    { 種類: <input type="checkbox"/> ある    { 構造: 床面積:		
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない    [                    地方裁判所                    支部 平成    年( )第    号 <input type="checkbox"/> ある                    保管開始日    平成    年    月    日		
土地建物の位置関係	<input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



占有者及び占有権原 (物件1関係)	
占有範囲	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 物件2建物設置部分
占有者	<input checked="" type="checkbox"/> 債務者 <input type="checkbox"/>
占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 敷地 <input type="checkbox"/> 駐車場 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 居宅 <input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 倉庫 <input type="checkbox"/>
■関係人(■A(占有者) ■B~H(土地共有者))の陳述/□提示文書( )の要旨	
占有権原	<input type="checkbox"/> 賃借権 <input checked="" type="checkbox"/> 使用借権 <input type="checkbox"/>
占有開始時期	平成17年 3月16日
最初の契約日	上記 年 月 日頃
契約等期間	上記 年 月 日頃から <input type="checkbox"/> 年 月 日まで 年間 ■期間の定めなし
更新の種類別	<input type="checkbox"/> 合意更新 <input type="checkbox"/> 自動更新 <input type="checkbox"/> 法定更新
現在の契約等期間	年 月 日から <input type="checkbox"/> 年 月 日まで 年間 <input type="checkbox"/> 期間の定めなし
契約等貸主	<input checked="" type="checkbox"/> 所有者 <input type="checkbox"/> その他の者( )
当事者借主	<input checked="" type="checkbox"/> 占有者 <input type="checkbox"/> その他の者( )
賃料・支払時期等	毎 金 円(毎 限り 分支払) <input type="checkbox"/> 前払( 分 円) <input type="checkbox"/> 相殺( 分 円)
敷金・保証金	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(□敷金 円 □保証金 円)
特約等	<input type="checkbox"/> 譲渡・転貸を認める <input type="checkbox"/>
その他	
執行官の意見	<input checked="" type="checkbox"/> 上記のとおり <input type="checkbox"/> 下記のとおり <input type="checkbox"/> 「執行官の意見」のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
A (債務者兼物件2所有者)	1 物件2建物に居住している。他の者に貸したりしている部分はない。 2 同建物の敷地である物件1土地は、従前は亡父Mの名義であったが、差押え債権者が代位して相続登記をした結果BないしLまでの共有名義となったらしい。 3 私は、父が存命中に物件2建物を建てたが、親子であるから父に対して土地賃料を支払ったことはなく、期間も決めていなかった。 現在でも、物件1土地の共有者らに対して土地賃料を支払っていない。 4 物件1土地の建物敷地以外の部分は、一部に植物を植えているものの、ほぼ更地である。 5 私自身は、普段は、父名義のままとなっている隣地(196番)を通行して道へ出ているが、競売の買受人は、物件1土地と道との境界線にそって植栽している生け垣を撤去すれば同隣地を通行することなく生活できると思う。
B～H (物件1共有者)	物件1土地上に同2建物を建てているAとの間で土地賃料等のやり取りはしていない。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

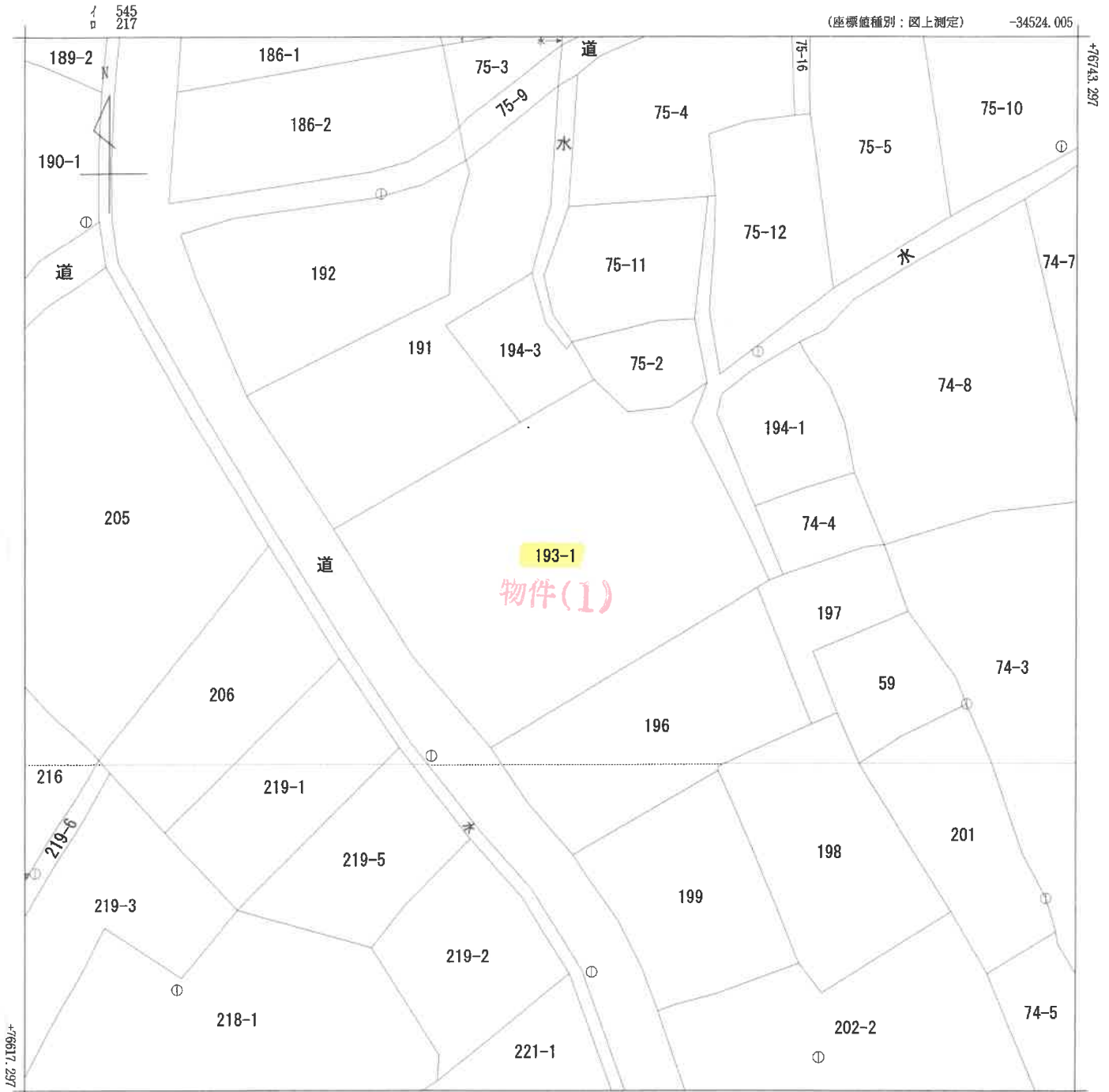
執行官の意見

- 1 関係人の陳述及び現況にてらし、2及び3枚目記載のとおりと認める。
- 2 IないしLに対して占有関係を書面で照会したが、回答がなかった。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
7年 3月13日 (木) 9:30-9:40	青森地方法務局弘前支局	土地建物登記事項証明書等受領
7年 3月18日 (火) 15:00-15:10	当庁執行官室 (電話)	占有関係調査 (D)
7年 3月18日 (火) 16:15-16:25	当庁執行官室 (電話)	占有関係調査 (B)
7年 3月18日 (火) 16:30-16:40	当庁執行官室 (電話)	占有関係調査 (H)
7年 3月19日 (水) 9:00-9:10	当庁執行官室 (電話)	占有関係調査 (G)
7年 3月19日 (水) 9:40-9:50	当庁執行官室 (電話)	占有関係調査 (E)
7年 3月19日 (水) 10:00-10:10	当庁執行官室 (電話)	占有関係調査 (C)
7年 3月21日 (金) 13:35-13:45	当庁執行官室 (電話)	占有関係調査 (F)
7年 3月25日 (火) 10:00-11:00	物件所在地	立入のため臨場/関係人と面談/概測/写真撮影
<p>(特記事項)</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。</p>		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



-34649.005 (座標値種別：図上測定)

(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyouki2011.par)による修正がされています。

地番 区域見出	大字榎木字用田
------------	---------

請求分	所在 弘前市大字榎木字用田				地番	193番1				
出力縮尺	1/500	精度区分	甲三	座標系番号又は記号	X	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	昭和56年10月			備付年月日(原図)	昭和58年9月12日			補記事項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年3月13日  
青森地方務局弘前支局  
登記官

請求番号：7-8  
(1/1)

( 7 枚目)

公用

登記年月日：平成17年3月18日

A3をA4に縮小

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。  
令和7年3月13日 青森地方方法務局弘前支局 登記官

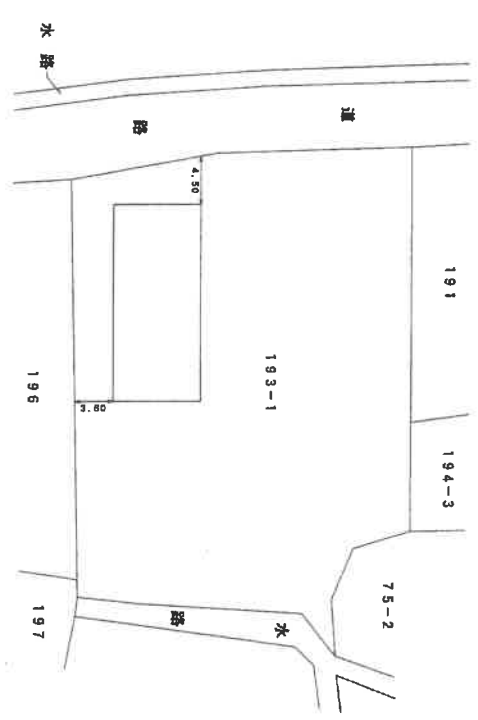
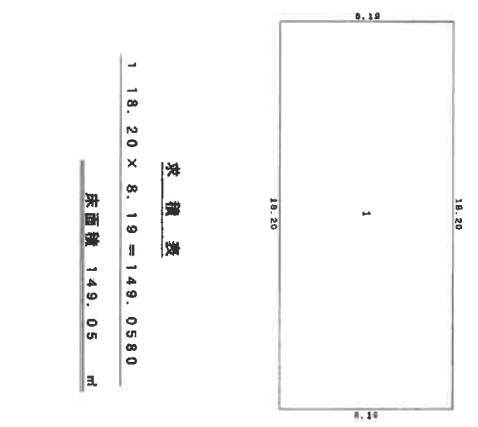
0801499

各階平面図

物件(2)

建築物各階平面図

家屋番号	193番1
建築物の所在	弘前市大字権木字用田193番地1



作製者	土地調査士 家園	縮尺	1/250
		縮尺	1/500

申請人	縮尺	1/500
-----	----	-------

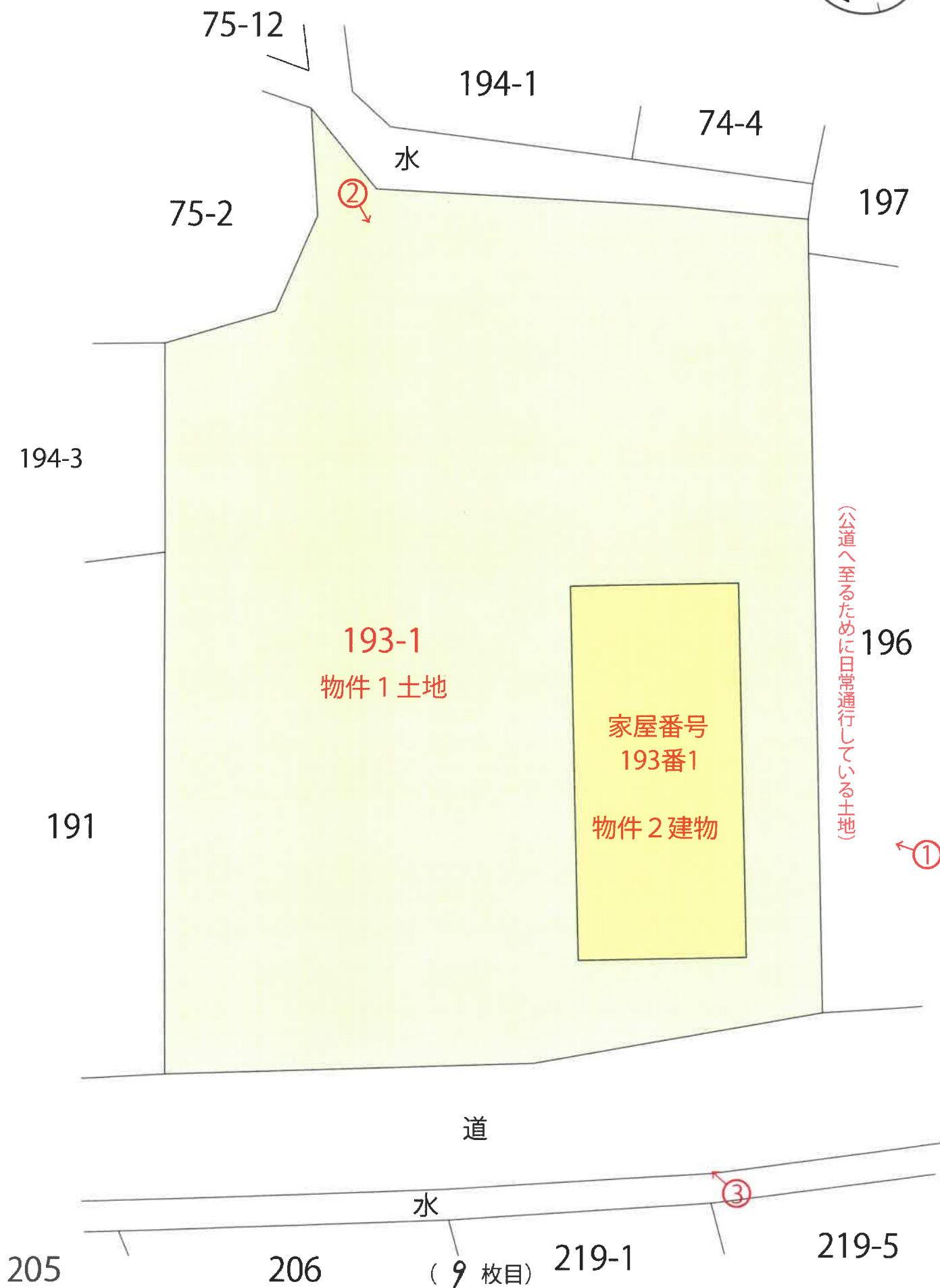
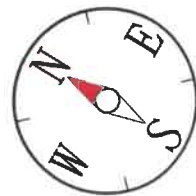
(目録裏)

(長源約)

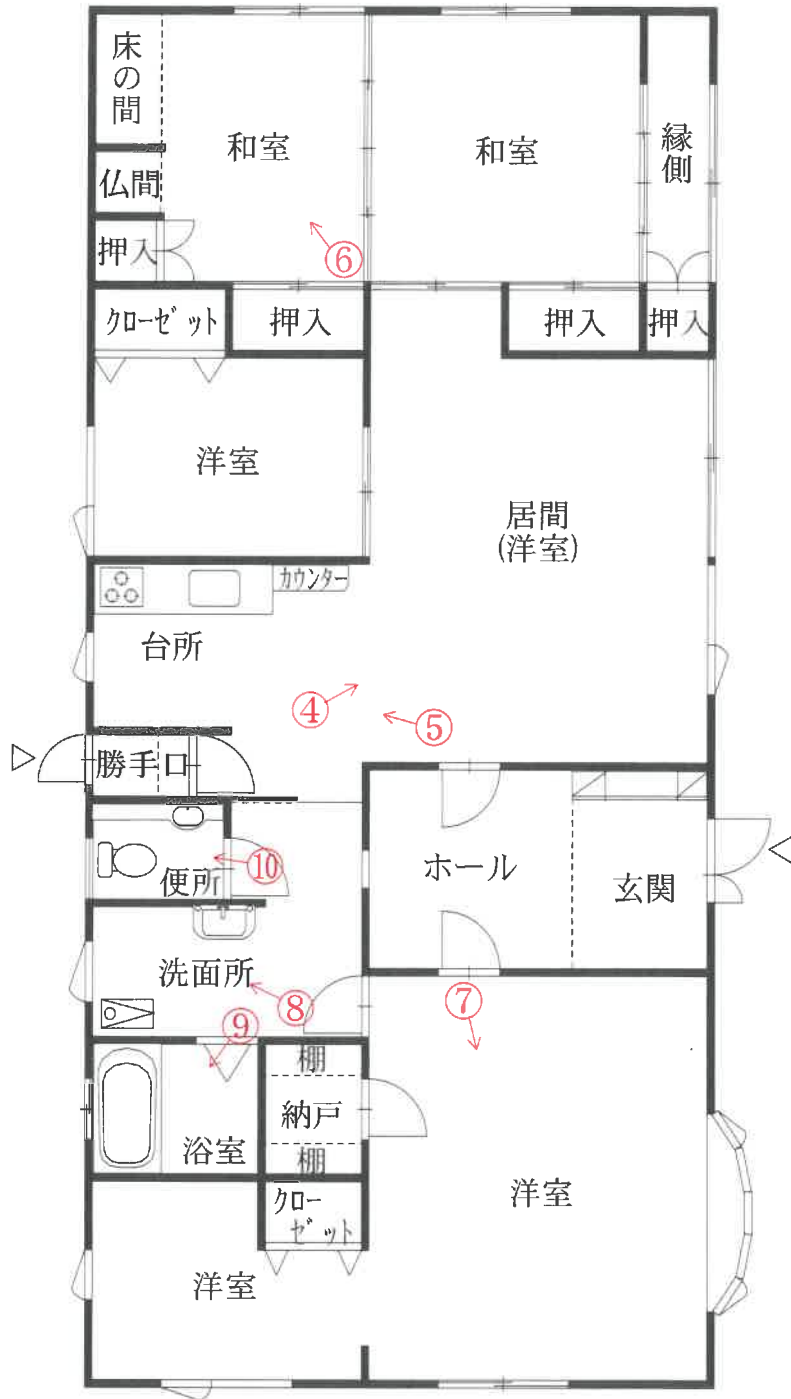
平成17.3.18 登記

# 土地建物位置関係図

(S=1/250)



# 建物間取図 (縮尺：約1/100)



凡例  
←○ : 写真撮影位置

( 10 枚目)



写真番号1

物件2建物



公道へ至るために日常通行している土地 (目的外 196 番)

物件1土地

写真番号2

物件2建物



物件1土地

写真番号3



物件2建物

物件1土地

写真番号4



写真番号5



写真番号6





写真番号7



写真番号8



写真番号9



写真番号10



令和 7 年 (ケ) 第 1 号

令和 7 年 (ケ) 第 1 号

令和 7 年 3 月 25 日 現地調査

令和 7 年 4 月 1 日 評 価

青森地方裁判所弘前支部 御中

# 評 価 書

評価人 不動産鑑定士

三 藤 美 弘 樹

印

## 第1 評 価 額

一 括 価 格	
金 5,912,000 円	
内 訳 価 格	
物件1(土地)	金 1,822,000 円
物件2(建物)	金 4,090,000 円

- 1 一括価格は、物件 1, 2 の各不動産について、一括売却（民事執行法 61 条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件 1 の内訳価格は、物件 2 のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件 2 の価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

## 第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。  
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

## 第3 目的物件

番号	所在等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	弘前市大字檜木字用田 193 番 1 宅地 1286.18 m <sup>2</sup>	同 左 同 左 同 左 同 左
2	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	弘前市大字檜木字用田 193 番地 1 193 番 1 居宅 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 149.05 m <sup>2</sup>	同 左 同 左 同 左 同 左 約 150.08 m <sup>2</sup>



## 第4 目的物件の位置・環境等

### 1. 土地の概況及び利用状況等 (物件 1)

位置・交通	J R 五能線「板柳」駅の南西方約 3.7 km (道路距離) (附属資料 1 位置図参照)	
付近の状況	弘前市中心部から北西方郊外に位置する古くからの農家住宅地域である。地域内に最近特別の経済的変動要因はなく、今後とも現環境を維持していくものと予測する。	
主な公法上の規制等(道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 防火規制 その他の規制	都市計画区域外 — — — — 特になし
画地条件	間口約 32m, 奥行約 43m のほぼ長方形地 地積 1,286.18 m <sup>2</sup> (登記地積) 接面道路ならびに周囲の宅地とほぼ等高な平坦地 (南西向き中間画地)。	
接面道路	有効幅員約 5.5m 公道 舗装有 ※都市計画区域外にあり, 建築基準法の道路に関する規定の適用なし。 現在は当該道路との間には生垣が植えられている。公道との出入りは目的外隣地 (196 番) を無償で利用している。	
土地の利用状況	土地所有者以外の者が, 本土地上に物件 2 建物を所有し占有している (附属資料 4 配置図参照)。 (占有者及び占有権原) 占有範囲: 物件 2 建物敷地部分 占有者: 債務者 占有状況: 物件 2 建物の敷地として利用している。 ※以下, 関係人の陳述による。 占有権原: 使用借権 (親族間) 占有開始時期: 平成 17 年 3 月 16 日 最初の契約等: 契約日 上記 期間 上記から定めなし 契約等当事者: 貸主 所有者 借主 占有者	
供給処理施設	上水道	あり
	ガス配管	なし
	下水道	あり

<b>特記事項</b>	岩木川左岸に位置しており、洪水ハザードマップによると想定浸水深 0~3m 未満の区域に存する。
-------------	---

2. 建物の概況及び利用状況 (物件2)

<b>区 分</b>	主である建物 家屋番号 193 番 1
<b>建築時期及び経済的残存耐用年数</b>	建築年月日(登記上) 平成 17 年 3 月 16 日新築 経過年数 約 20 年 経済的残存耐用年数 10 年
<b>仕 様</b>	構造 木造 屋根 亜鉛メッキ鋼板葺 外壁 サイディング貼り 内壁 ビニルクロス 天井 ビニルクロス, 目透し天井 床 フローリング, 畳, クッションフロア外 設備 電気, 給排水, 衛生, 浴室, 給湯, ガス(プロパン) 外 ※但し, 設備の動作確認は行なっていないので, 正常に稼働するか否かは不明。 その他 なし
<b>床面積(現況)</b>	第 3 項 目的物件欄記載のとおり
<b>現況用途等</b>	階 層 2 階建 現況用途 居宅 間 取 り (附属資料 5 建物間取図のとおり)
<b>品 等</b>	中等
<b>保守管理の状態</b>	良好 (但し, 和室 (6 帖) の窓ガラスが一部割れている。)
<b>建物の利用状況</b>	建物所有者が, 居宅として所有し占有している。
<b>特記事項</b>	1. 対象建物について, 建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果, アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお, アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。 2. 増築部分は南西側洋室の窓部分 (附属資料 5 間取図参照) であるが, 新築時より存在していたものとみられる。

## 第5 評価額算出の過程

### 1. 基礎となる価格

#### ① 物件 1(土地)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 修 正 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ≒オ
1	3,100	1.0	1,286.18	(1-0.15)	3,389,000

(総額につき千円未満の端数金額は四捨五入, 以下同じ)

#### ア 標準画地価格 (公示価格等からの規準)

地価調査 弘前(県)-24

$$\begin{array}{cccccc} \text{基準地価格} & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} & \\ 6,700 \text{ 円/㎡} & \times 99.0/100 & \times 100/100 & \times 100/213 & \text{≒ 3,100 円/㎡} & \end{array}$$

- ◇ **時 点 修 正** : 公示価格等の価格時点から本件の価格時点までの推定変動率である。
- ◇ **標準化補正** : 標準的
- ◇ **地 域 格 差** : 街路条件+4% (系統及び連続性, 幅員), 交通・接近条件+8% (市中心部), 環境条件+90% (住環境) …以上, 相乗積による。

イ 個 別 格 差 : 標準的

ウ 地 積 : 登記数量

エ 建 付 減 価 : 建物と敷地との適応の状態, 建物の老朽化の程度等を考慮した。

## ② 物件2(建物)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ≒エ
2	199,000	150.08	0.24	7,168,000

## ウ 現価率

経過年数、経済的残存耐用年数、観察減価及び中古建物の市場性減価、残価率を下表のとおり判定し、耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して、現価率を以下のとおり査定した。

物件番号	経過年数	経済的残存耐用年数	観察減価及び中古建物の市場性減価	残価率	現価率
2	20年	10年	0.30	0.03	0.24

現価率 = {残価率 + (1 - 残価率) × (経済的残存耐用年数 / (経過年数 + 経済的残存耐用年数))} × (1 - 観察減価率)

## 2. 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

### ① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等 の及ぶ範囲 イ	土地利用権等割合 ウ		土地利用権等価格 (円) ア×イ×ウ÷エ
			0.10	使用借権	
1	3,389,000	0.40	0.10	使用借権	136,000

イ 土地利用権等の及ぶ範囲：建物の配置の状態，駐車スペース，雪置き場等を勘案し，物件1土地の約40%と判定した

ウ 土地利用権等割合：土地利用権を使用借権と判定し，使用借権価格を本件建付地価格の10%と判断した。

### ② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) (1①オ, 1②エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①エ) イ	占有減価 修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評 価 額 (円) (ア+イ) ×ウ×エ×オ
1	3,389,000	-136,000		(1-0.20)	(1-0.30)	1,822,000
2	7,168,000	+136,000		(1-0.20)	(1-0.30)	4,090,000
一括価格 (合計)						5,912,000

ウ 占有減価修正：なし

エ 市場性修正：地縁性の強い農家集落内にある不動産の需給動向を勘案した。

オ 競売市場修正：第2評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

## 第 6 採用した公示地等の概要

地価調査基準地 (弘前(県)-24)

所在・地番：弘前市大字独狐字松ヶ沢 109 番 2

価 格：6,700 円/㎡

位 置：JR 奥羽本線「弘前」駅の北西方道路距離約 7.8 km 先に位置する。

価 格 時 点：令和 6 年 7 月 1 日

地 積：1,160 ㎡

供給処理施設：水道, 下水

接 面 街 路：東側約 8m 舗装県道に接面

用途指定等：市街化調整区域 (指定建蔽率 70%・指定容積率 200%)

地域の概要：中規模の農家住宅が建ち並ぶ地域

## 第 7 附属資料の表示

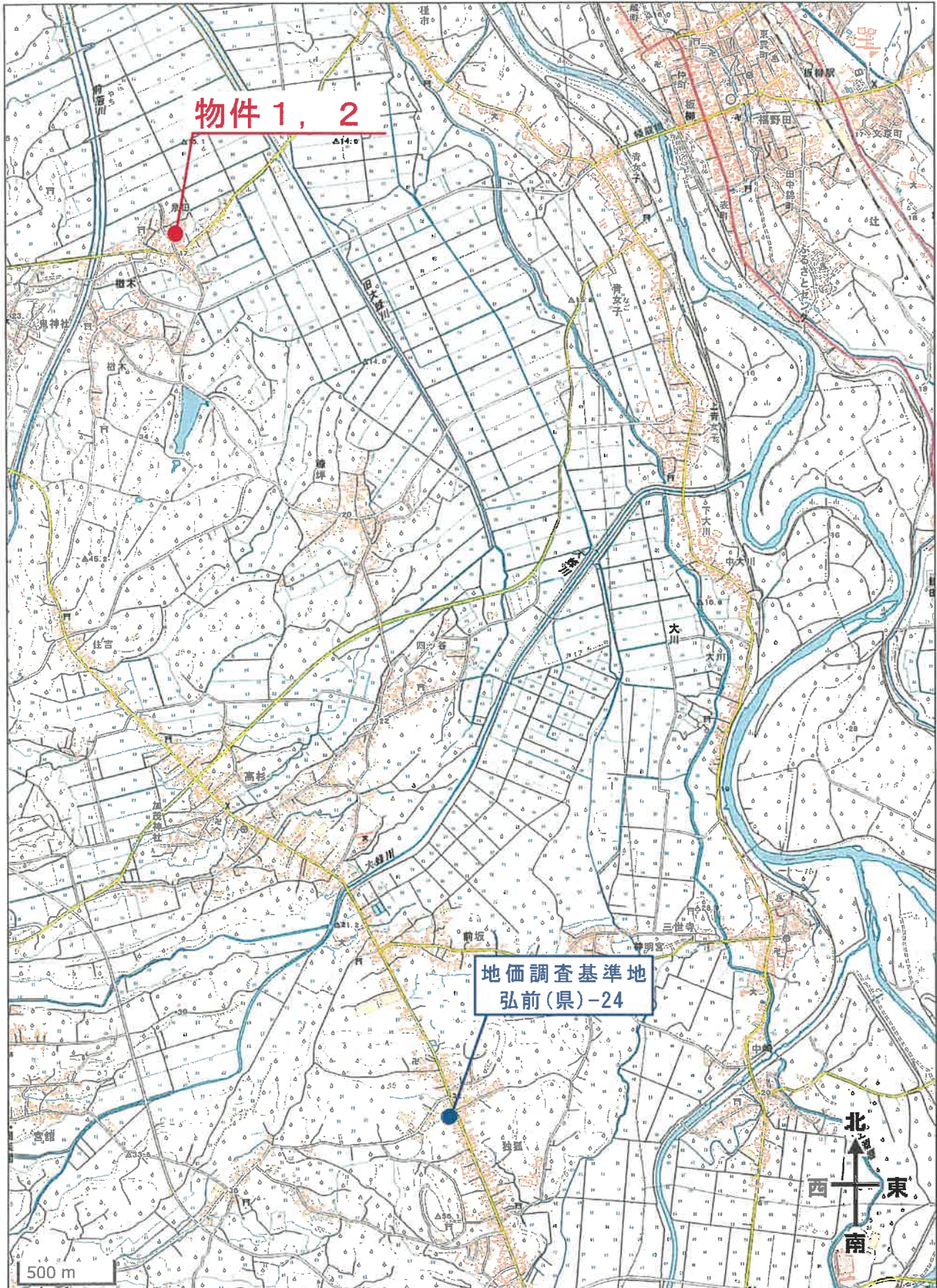
1.	位置図 (出所：国土地理院「地理院地図」)	1 葉
2.	法第 14 条第 1 項地図写	1 葉
3.	建物図面・各階平面図写	1 葉
4.	配置図	1 葉
5.	建物間取図	1 葉

以 上



令和7年(ケ)第1号  
附属資料  
1. 位置図

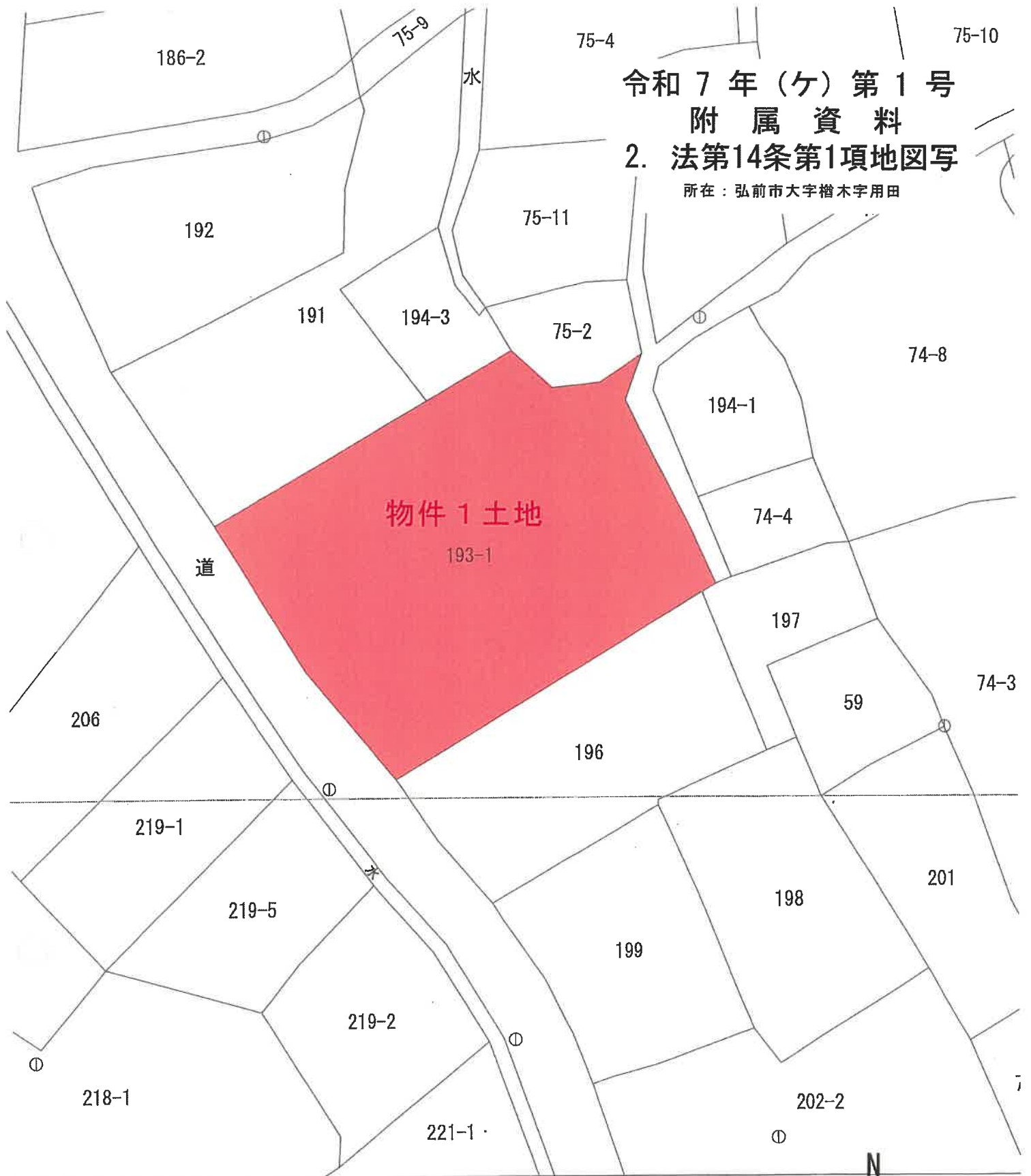
地理院地図  
GSI Maps





令和7年(ケ)第1号  
 附属資料  
 2. 法第14条第1項地図写

所在：弘前市大字櫛木字用田



〔標値種別：図上測定〕

完が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyouuki2011.par)による修正がされています。



弘前市大字櫛木字用田

地番 193番1

S:1/500

1

緯度

座標系



3. 建物図面・各階平面図写

A3版をA4版に縮小

登記年月日：平成17年3月18日

0801499

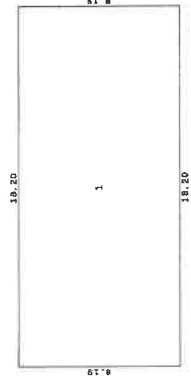
各階平面図

家屋番号 193番1

建物の所在 弘前市大字楡木字用田193番地1

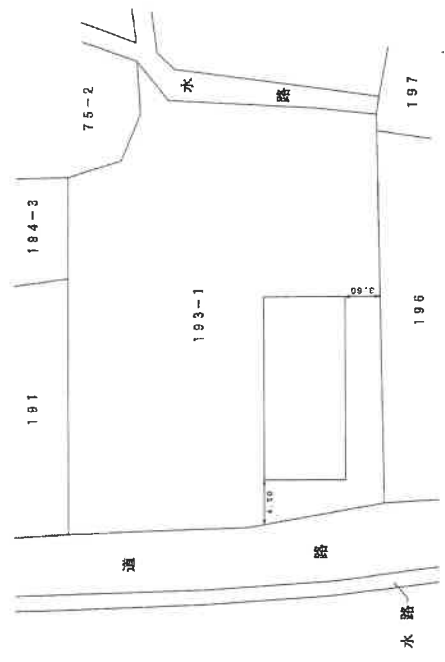
建物各階平面図

物件2建物



求積表

1 18.20 X 8.19 = 149.0580  
床面積 149.05 m<sup>2</sup>



(目録裏表)

(裏表)

作製者	縮尺 1/250	縮尺 1/500
申請人		

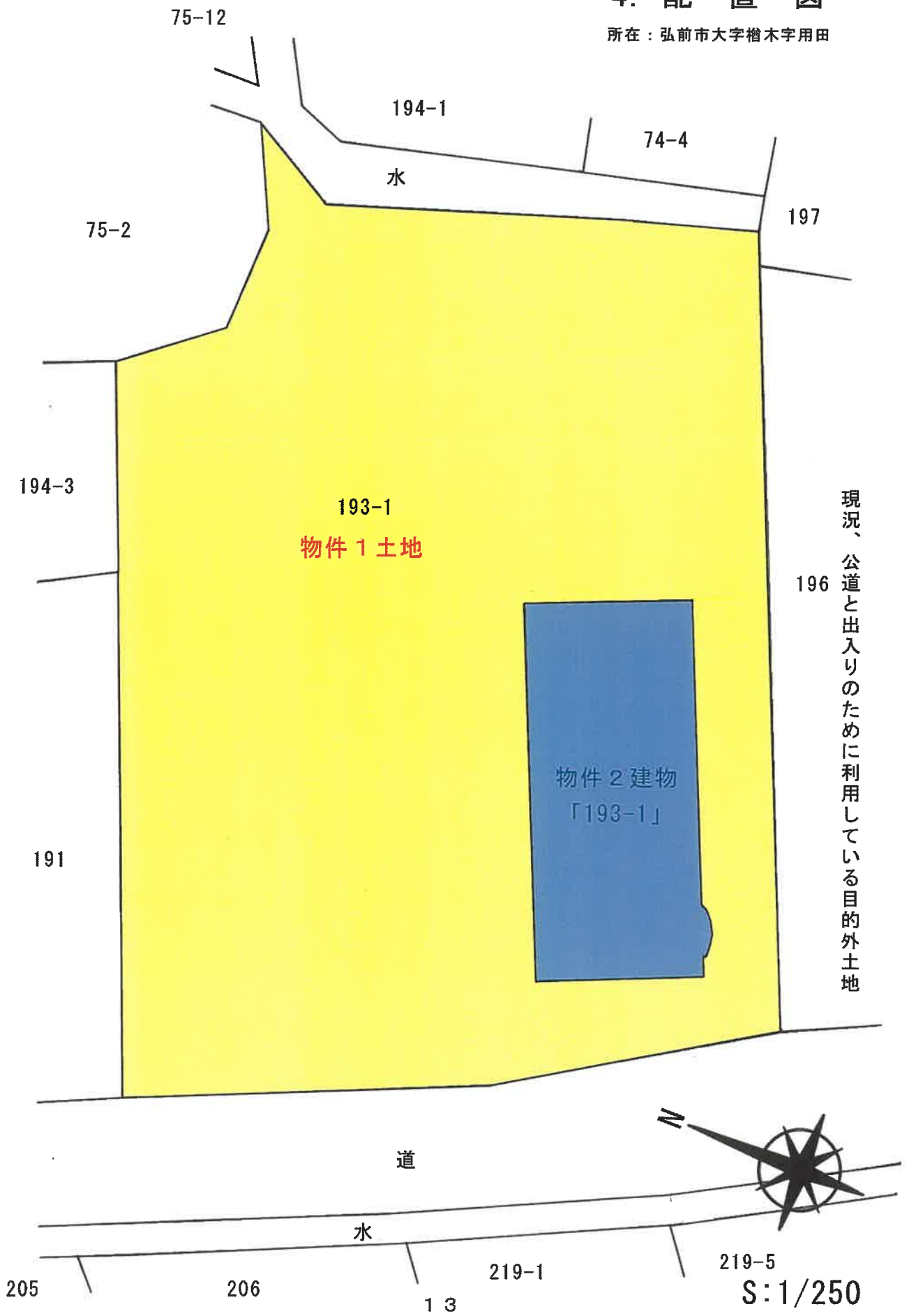
平成17.3.18 登記

令和7年(ケ)第1号

附属資料

4. 配置図

所在：弘前市大字榎木字用田



5. 建物間取図

物件2建物

